★地域とともにある学校づくりを目指して★

黒部市コミュニティ・スクール通信　Vol.17

黒部市内の小中学校がコミュニティ・スクールとなり、３年目となります。

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を核として、学校と地域・家庭が共通の目的やビジョンに向かって、連携・協働しながら取り組んでいく仕組みです。保護者や地域住民の学校運営への参画や支援・協力体制を整えることで、ネットワークの形成や信頼関係を深めながら、地域とともにある学校づくりを目指して進めます。そのための合言葉は、「**ち：力を合わせ、い：生き生きと、き：希望をもって**」です。本年度も「黒部市コミュニティ・スクール通信」の発信を継続し、各小中学校での取り組みや地域・家庭の実践の様子などを紹介していきます。

第１回学校運営協議会の開催

第１回学校運営協議会が、４月21日の若栗小学校を皮切りに黒部市内小中学校全てで、開催されました。各学校運営協議会では、会長、副会長の選出の後、校長より学校運営の基本方針が説明され、学校で育てたい子供の姿やその実現に向けて取り組むアクションプラン、行事計画等が、協議の上、承認されました。



【第１回学校運営協議会（若栗小）】

各協議会では、各校が抱える課題「メディア・AIとの関わり方」「子供を犯罪から守る防犯カメラ等の状況」「地域の交通安全の様子」「クマ、イノシシ等への対応」「地域・保護者ボランティアについて」等、様々な視点からのご意見をいただきました。

また、委員の授業参観を合わせて実施する学校がいくつかありました。子供たちの様子を見て、協議に反映していただくことで、より有意義な話合いとなりました。

安全な環境を整えていただきました（荻生小学校）

地域の「荻っ子応援団」の方に、児童玄関のくつ箱前の「すのこ」を修理していただきました。余分な部分を切り落とし、くつ箱の間にぴったりとはまるようになった「すのこ」の上では、安心してくつを履き替える子供たちの姿が見られます。

職員や子供たちだけでは、技術的・時間的に難しい学校の環境を地域の方々の力をお借りして、整備していただくことは、学校にとってとてもありがたい支援です。子供たちの安全な生活のための環境を整えていただき、ありがとうございます。



【すのこの修理を行う応援団の方】

令和８年６月５日発行
発行：黒部市教育委員会 学校教育課　コミュニティ・スクール担当　℡：0765-54-2701